

連携の絆を深め、
輝く明日へ



ニュースレポート
中央会

NEWS REPORT CHUOKAI

No.763

2019

10



全道大会決議に基づく要望活動



女性リーダーインタビュー
室蘭市商店街振興組合連合会
齊藤 弘子 理事長



ものづくり補助金活用事例紹介
～株式会社はこだて柳屋～

Contents

- 01 全道大会決議に基づく要望活動
- 02 HOPE (HOKKAIDO PRINT EXPO) 2019 開催
北海道生花商協同組合創立 60 周年記念式典・祝賀会開催
- 03 ものづくり補助金フォローアップ個別支援無料相談会開催
令和元年度組合運営実務講習会開催
- 04 女性リーダーインタビュー
室蘭市商店街振興組合連合会 齊藤 弘子 理事長
- 06 業界こぼれ話 (八百屋さんの話)
- 07 令和 2 年度地域・中小企業・小規模事業者関係予算等の概算要求
北海道最低賃金改定
- 08 共済制度普及促進制度のお知らせ
- 09 企業のメンタルヘルスケアと対策
～快適な職場環境を目指して～
—特定社会保険労務士 森 隆幸 氏—
- 10 ものづくり補助金活用事例紹介
～株式会社はこだて柳屋～
- 12 8 月の道内景況
- 14 支部だより
- 16 中小企業大学校旭川校からのお知らせ
中小企業基盤整備機構からのお知らせ

本会常任理事

内山 謙士郎 氏

令和元年 8 月 14 日逝去されました。

満 66 歳でした。心からご冥福をお祈り申し上げます。

札幌市製紙原料事業協同組合 理事長 平成 26 年 北海道産業貢献賞受賞
北海道製紙原料直納商業組合 前理事長 平成 30 年 札幌市産業経済功労者表彰受賞



申請期限を延長しました! 複数税率対応レジ導入等助成金

国の補助金を活用する際の自己負担分の費用の一部を北海道中小企業団体中央会が助成します。このたび、国の補助金の手続要件変更に伴い、中央会助成金についても要件の変更と申請期限の延長を行いました。詳しい内容については、連携支援部または各支部へお問い合わせください。

中央会助成金の概要

助成対象者	① 組合(企業組合等の事業で複数税率対応レジの導入等が必要となり、組合として国の補助金のA型申請を行ったもの) ② 組合員 ※ 申請は、組合分及び組合員分をとりまとめの上、必ず組合が行う。
対象費用	国の軽減税率対策補助金のA型申請に係る補助対象費用のうちの自己負担分
助成率	上記自己負担分の1/2以内
上限額	1組合員(又は組合)あたり 100,000円
申請期限	12月23日(月)まで



詳しくは、QRコードから本会ホームページをご確認ください。



全道大会の決議に基づき 国・道に対する要望活動を実施

9月4日、令和元年度中小企業団体全道大会(8月7日に札幌市で開催)の決議事項の実現を図るため、国と北海道に対し要望を行いました。

当日は、尾池一仁会長と5人の副会長に事務局を加えた要望団が北海道経済産業局、北海道労働局、北海道庁を訪れ、それぞれ三木一弘産業部長、福士 亘労働局長そして鈴木直道知事に会長から要望書を手渡した上で、道内の中小企業・小規模事業者が直面している問題について説明し、その解決に向けた対策を講じていただくようお願いしました。

要望活動は今後も政党や国会議員、北海道議会などに対し行っていきます。

要 望 項 目

当面する重要問題の解決に向けて

1. 人材確保、育成、定着のための
実効ある対策
2. 働き方改革関連法の施行と
最低賃金引き上げに関する配慮
3. 消費税引き上げに伴う対策と
インボイス制度導入の撤回
4. 事業継続計画(BCP)の策定促進の
ための支援強化

中小企業・小規模事業者の持続的発展に向けて

1. 景気・地域経済対策
2. 中小企業・小規模事業者対策
3. 官公需対策
4. 商店街対策



HOPE(HOKKAIDO PRINT EXPO)2019開催!

9月6、7日、アクセスサッポロにおいてHOPE(HOKKAIDO PRINT EXPO)2019が開催されました。

HOPEは、前身である北海道情報・印刷産業展を平成28年に刷新し、北海道印刷工業組合や北海道紙器段ボール箱工業組合などで構成する実行委員会により、印刷機器等の展示会とセミナーを組み合わせた学びと情報発信の場として毎年開催されています。

開会式で挨拶に立った岸 昌洋HOPE実行委員会会長は、「道内印刷業界は、既存需要の縮小に伴う新規需要創造のため業態変革への転換期にあり、勝ち残っていくためには新しい印刷産業へのリ・デザインが求められている」とした上で、「HOPE2019が、新しいかたちの印刷ビジネスを展開し、発展を続ける契機になれば」と述べました。

会場には「Happy Industry～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」をテーマに印刷・情報機器、資材メーカー43社による81の出展ブースが設置され、最新の印刷機器・技術・サービス等が紹介されたほか、経営・営業・技術などをキーワードに12セッションのセミナーも実施されました。開催期間中、約3,200人が来場し、印刷業界の未来を展望する2日間となりました。



盛大に行われたオープニングセレモニー



多くの来場者で賑わった展示会

北海道生花商協同組合

創立60周年記念式典・祝賀会を開催!

北海道生花商協同組合(斉藤充理事長、組合員350人)の創立60周年記念式典・祝賀会が9月10日、ロイトン札幌において開催されました。

同組合は、昭和35年、道内の生花商組合の連合会として発足した後、昭和49年に現在の組合に改組し、花き等の共同購買事業や組合員の技術力、商品力向上のための道花連インストラクター制度、親子アレンジメント教室等での花育事業など、さまざまな活動を通じて組合員の事業の発展と業界の地位向上に取り組んできました。

斉藤理事長は、式辞で「道内の花業界は、消費の低迷や需要構造の変化、地方の過疎化問題など慢性的な要因による売上減少が続いています」と近年の花業界を取り巻く厳しい状況に触れ、「70、80周年に向けて、組合店が現況の中でも前向きに努力する姿を道民の皆様に発信していきたい」と今後に向け決意を述べました。

記念式典に先だって開催されたフラワーデザイン競技会の北海道カップでは、全道のフローリストがセンスと技術を競い合い、展示された色とりどりの作品が訪れた人々の目を楽しませていました。

祝賀会は、終始和やかな雰囲気で行われ、次の節目に向けさらなる業界の発展を誓い合い、盛会のうちに締めくくられました。



会場入口の案内



会場を彩ったフラワーアレンジメント



式辞を述べる斉藤理事長

個別支援無料相談会を開催!

ものづくり補助金のフォローアップ事業の一環として、採択事業者を対象に個別支援無料相談会を開催しました。

国の平成24年度の補正予算で措置されて以来、継続実施されているものづくり補助金は、製造業にとどまらず、商業やサービス業など全道の幅広い中小企業・小規模事業者にも活用されていますが、成果の事業化が課題となっています。

当会では、補助事業で開発された製品・サービスのブラッシュアップや販売戦略などに関するコンサルティングやアドバイスを通じて事業化を支援する相談会を、特定非営利活動法人経営支援NPOクラブの協力を得て、昨年度から実施しています。今回は、9月12、13日の2日間、北海道中小企業会館を会場に大手企業の一線で活躍した経験を持つ技術やマーケティングに明るい5人のアドバイザーが申込みのあった16事業者の相談に対応しました。

この相談会の結果、相談に持ち込めるレベルにあると認められたものについては、取引先のコーディネート(商談先の紹介、面談機会の調整など)の支援も行っています。



令和元年度 組合運営実務講習会開催!

組合運営実務の基礎知識の習得や「中小企業組合検定試験」受験のための事前講習を目的とした「組合運営実務講習会」を9月18日から20日の3日間にわたり開催しました。基礎知識を習得する前半の部と受験対策の後半の部の2部構成で実施し、各日、約20人が参加しました。

講師は、中小企業組合士の資格をもつ北海道税理士協同組合 小鷹健太主任(組合制度後半の部)、北海道医師協同組合 伊藤美里主任(組合運営後半の部)、伊達信用金庫 片桐崇意審議役(組合会計)のほか、中央会職員2名が務めました。



小鷹健太講師
(北海道税理士協同組合)



伊藤美里講師
(北海道医師協同組合)



片桐崇意講師
(伊達信用金庫)



中條嘉秀講師(中央会)



平松恭太講師(中央会)

■ 中小企業組合士とは？

中小企業組合士は、中小企業組合に従事する役職員の資質の向上を図るため、その職務の遂行に必要な知識に関する試験(中小企業組合検定試験)を行い、合格者の中から組合等での実務経験が3年以上ある方に対して与えられる称号です。

現在、全国で約3,000名の方が中小企業組合士として中小企業組合はもちろん、中小企業団体中央会をはじめ、連携組織を支援する様々な分野で活躍しています。

■ 中小企業組合検定試験とは？

中小企業組合検定試験制度は、昭和49年度から実施されている中小企業組合士の資格取得のための試験制度です。

試験科目は、「組合制度」「組合運営」「組合会計」の3科目で、全ての科目に合格することが求められます。試験は例年12月の第1日曜日に実施されており、翌年3月に合格者が発表されます。

合格率はおおむね50パーセント前後で、3科目の一部に合格した場合には、合格科目については、3年間有効となり、残りの科目のみを翌年以降に受験することができます。

VOL.07 室蘭市商店街振興組合連合会 齊藤弘子理事長

第7回目は、室蘭市商店街振興組合連合会理事長の齊藤弘子さんです。転勤族だった夫の赴任先と離れた地で、ハサミを片手に一人起業し、地域に並々ならぬ情熱を注いできたそのエネルギーと地域愛の源泉に触れました。



室蘭市商店街振興組合連合会

理事長 **齊藤 弘子**さん

生地とオーダーの専門店オーダーサロンバンブウの代表を務める傍ら、シャンシャン共和国商店街振興組合の立ち上げに携わり、現在は室蘭市商店街振興組合連合会理事長など、さまざまなポジションで地域に貢献しています。

- | | |
|-------------------|----------|
| ・オーダーサロンバンブウ | 代表 |
| ・シャンシャン共和国商店街振興組合 | 理事長(大統領) |
| ・室蘭市商店街振興組合連合会 | 理事長 |
| ・室蘭中島商店会 | 副会長 |
| ・中島商店会コンソーシアム | 副幹事長 |

|| 起業までの道のり ||

生まれは神奈川県で、東京でデザイナーの仕事をしていたのですが、親の介護のために一時的に北海道を訪れたときに、ご縁があり、北海道の方と結婚しました。その後、夫が転勤族だったため、全国各地に転勤しては、行く先々にあるデパートなどでデザイナーの仕事続け、いつかは自分のお店を持ちたいと考えていました。

たまたま、再度北海道に転勤となり、赴任地の登別市で、自分が作った洋服を個人で販売したところ、徐々に隣町の室蘭市にまで口コミが広がり、多くのお客を抱えるようになりました。そのころ、また夫が転勤したため、初めのうちは、新たな転勤先と室蘭を行ったり来たりでお客様に対応していたのですが、中途半端な状態になってしまっていたこと、また夫が私の夢を理解してくれたこともあり、昭和55年、室蘭にあるシャンシャン通り商店街(現：シャンシャン共和国商店街振興組合)で念願だったオーダーサロンを開くことにしました。



|| 地元の魅力を引き出すには ||

サロン開店当時、室蘭でファッションショーをやってみないかというお話をいただき、室蘭初のファッションショーを開催したところ、大きな反響があり、他からもファッションショーの開催依頼をいただきました。その際、まだ道内で認知度が低かった伊達で生産されている藍に目をつけ、地元の服飾学校の生徒に藍染の洋服製作を依頼し、それをショーで発表することで、地元資源の発掘のお手伝いをさせていただきました。



私は「室蘭の人間です」

そう胸を張って言えるくらい、
この町に情熱を注いできました。

|| 組合での取組 ||

室蘭市内に8つある商店街振興組合では、それぞれが年1回イベントを行っています。シャンシャン共和国では、毎年6月に建国記念祭というイベントを行っています。イベント立ち上げ当初は、お客様に商店街に来てもらって、見てもらうことをメインとする企画が多かったのですが、商店街の若手店主を中心にアイデアを出し合い、3年前から「Shanちゃん共和国杯」と銘打った小学生低学年向けのストリートサッカー選手権を開催し、お客様参加型にシフトしました。そうすることで、大人だけでなく、子供からおじいちゃんおばあちゃんまで楽しんで、地域の皆様が全員そろって元気になれるイベントになったと思っています。



また、平成29年には、上野動物園で生まれたパンダのシャンシャンに共和国の名誉国民の称号を贈るなど、商店街、地域の知名度アップのためのアイデアを模索し続けています。

|| 女性が起業することの難しさ ||

私が起業した当時は、女性というだけで事業資金を融資してもらうのも困難なことがありましたが、今は女性の起業に対する支援も充実していますし、一生懸命取り組んでいれば、必ず「あなたなら」と助けてくれる人がいますので、チャレンジする気持ちを大事にしてほしいです。

*おわりに

インタビューで印象に残ったのは、齊藤理事長が「とにかく周りの皆さんに助けてもらいました」と何度も言われていたことです。その気さくな人柄と並み外れた行動力、そして謙虚さが周りの人を惹きつけてやまない理由だと感じました。

次回の女性リーダーインタビューは、11月号への掲載を予定しています。

● 業界こぼれ話 ●

第 69 回



八百屋さんの話

組合の紹介

道央青果協同組合は、札幌市中央卸売市場が開設(昭和35年)した後、組合員の経営力向上と青果物の安定供給、市場の円滑化を目的に前身となる札幌市中央卸売市場青果物買出人協同組合を昭和37年に設立。その後、昭和45年に改称し、現在に至っています。主な事業は、組合員の取り扱う青果物の共同搬出や斡旋、金融事業、福利厚生事業などを行っています。

野菜が手元に届くまで

八百屋の扱う青果物の流通は、まず、農家が生産した作物が農協の選果場に集荷され、規格(サイズ: 2L、L、Mなど)と等級(品質の高いものから秀品、優品、良品)に選別され、出荷されていきます。

出荷された生鮮品は規格、等級ごとに市場内の荷受会社に一旦託され、荷受会社と仲卸業者または市内近郊の青果小売業者の間でセリを行います。このように、荷受業者1社と複数の仲卸業者らで公開オークションと同じ仕組みで値が決められるのです。

荷受業者は、言わば農家の代わりで、仲卸業者は青果小売業者も含めて需要者の代わりを務めることで、需要と供給のバランスを図り、市場価格が形成されるのです。市場は「いちば」の持つ生鮮品の供給場所であると同時に需要と供給のバランスから導かれた「市場価格(しじょうかかく)を作り上げる値決めの場」でもあるわけです。ただ、最近では小売業者の中にもスーパーなどの大規模小売量販店もありますので、セリ1本で値段を決めるには時間がかかりすぎるため、前もって決められた期間と価格(約定価格)により一定の価格で売買される予約相対取引形態が増えました。

青果店の一日

よく、八百屋の朝は早いといわれますが、それはかつてのようにセリだけで値段が決まっていた時代の話で、早く市場にいかないとライバル店に良くて安いものを先に取られてしまうためでした。現在は、前述の予約相対取引があるため前もって予約を入れておき、取り置いてもらうことができます。ただ、市場では、毎日セリ品の中に掘り出し物もあるので、チャンス目当ての小売商はやはり早起きです。

市場の仕事

市場の仕事は生鮮品を需要者に届けるだけではありません。例えば産地から届いた生鮮品は毎日、生育状況、品質、産地ごとのばらつき、残留放射線検査などいろいろな検査をする人々によるチェックを受けます。実際札幌市中央卸売市場内には札幌市保健所が常駐して、食用にできない有害魚をチェックしたり、誤って持ち込まれた毒キノコ類を未然に食い止めたり様々な部署の人たちがそれぞれの持ち場で専門性を生かした仕事をしています。人間にとって必要な衣食住のうちでも最重要な食を預かるわけですから食の安全を担保する仕事もとても重要なわけです。

野菜の日とは

昭和53年に青果業界が831の語呂合わせで8月31日を野菜の日^{やさい}に制定し、以後野菜の栄養価値を再認識してもらい、その消費の促進を図るため「野菜の日」として定着しています。ちなみにカレンダーを見ると8月31日の真上が8月24日なので、野菜の上にかけるものという意味合いで8月24日がドレッシングの日と定められています。現在は、青果業界とドレッシング業界がタッグを組み、8月24日から8月31日までの日を「サラダウィーク」と称し、業界を挙げて取り組んでいます。

業界の活性化を目指して

来年のオリンピック開催を目的に、青果業界ではHACCP(ハサップ)による衛生基準を取り入れ、業界全体で安全な生鮮流通を確保するための取組を進めています。このような安心・安全な生鮮流通が確立されるよう我々青果業者は今後も注力しなくてはならないと思っています。

また、食育という言葉が使われて何年にもなりますが、健康な体を維持するために何をどのように食べたらよいのかという食べ方の問題も発信しなくてはならないと常に考えています。

今回は、道央青果協同組合 常務理事 星田幸伸氏よりご寄稿いただきました。ありがとうございました。

経済産業省北海道経済産業局からのお知らせです

令和2年度地域・中小企業・小規模事業者関係予算等の概算要求

経済産業省では「令和2年度予算・制度」に関する概算要求等を発表しました。

省全体の令和2年度概算要求額は1兆4,292億円で、そのうち中小企業対策費は1,386億円(対前年比24%増)となっています。

中小企業・小規模事業者は、「経営者の高齢化」、「人手不足」、「人口減少」という3つの構造変化に直面しており、これらの構造変化に対応するため、①「事業承継・再編・創業等による新陳代謝の促進」、②「生産性向上・デジタル化・働き方改革」、③「地域の稼ぐ力の強化・インバウンドの拡大」に重点的に取り組みます。

また、近年、非常に大きな災害が頻繁に発生している状況を踏まえ、④「災害からの復旧・復興、強靱化」にもより一層力を入れていきます。

加えて、長時間労働規制(令和2年4月)、同一労働・同一賃金(令和3年4月)の中小企業への適用も見据え、⑤「経営の下支え、事業環境の整備」に引き続き粘り強く取り組みます。

詳細については、下記経済産業省のホームページをご一読ください。

〈中小企業対策費の推移〉

平成30年度	平成31年度	令和2年度 (要求)
1,110億円	1,117億円	1,386億円



〈詳細〉経済産業省ホームページ

【URL】<https://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2020/index.html>

(経済産業省北海道経済産業局中小企業課)
北海道札幌市北区北8条西2丁目札幌第1合同庁舎5階

TEL/(代表)011-709-2311(内2575)

北海道労働局からのお知らせです

「必ずチェック 最低賃金! 使用者も、労働者も」 北海道最低賃金

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者(臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む。)に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。

最低賃金額 時間額 **861円** 効力発生年月日 令和元年10月3日

『共済制度普及促進制度』

組合員等の契約実績に応じて 手数料をお支払いします!!

★ 普及促進制度の概要

中央会が実施する共済制度(『業務災害補償保険』『ビジネス総合保険』)は、本会会員とその組合員等が加入できる制度です。

事業活動に伴う様々なリスクから会員や組合員等の皆様をお守りする保険で一般加入よりも割安な保険料水準のため多くの皆様にご加入いただいております。

この度、本会ではより多くの皆様にこの有利な制度をご活用いただくため、本会と会員とが個別に覚書を取り交わし、組合員等への紹介や加入の勧誘などの普及促進業務を行っていただき、新規の加入実績に応じて手数料をお支払いする仕組みを立ち上げました。

割安な保険料でリスクに備えられ、組合財源確保の一助ともなるメリットの多い制度です。

★ 引受保険会社

三井住友海上火災保険株式会社 ・ 東京海上日動火災保険株式会社

★ 対象となる共済制度

- ・ 業務災害補償
- ・ ビジネス総合保険

※ 補償内容については保険会社にご説明いたします。

(注：他の保険会社からの乗換など一部対象とならない場合があります。)

※ これらの共済制度は次の2社でも取り扱っておりますが、普及促進制度の適用は有りません。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 ・ あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

★ 手数料

対象期間の保険料に手数料率を掛けた額を対象保険月数に応じてお支払いします

詳細は、本会ホームページをご覧ください。

★ お問い合わせ先

連携支援部 共済担当 土井

電話 011-231-1919 FAX 011-271-1109

<http://www.h-chuokai.or.jp>



連携の絆を深め、輝く明日へ

北海道中小企業団体中央会
Hokkaido Federation of Small Business Associations

企業のメンタルヘルスケアと対策

～快適な職場環境を目指して～



特定社会保険労務士
森 隆幸 氏

「メンタルヘルス」、それは「心の健康」のことです。身体が健康が大切なのはもちろん、心も元気であることは、仕事を進める上でも必要なことです。このところの社会環境の変化等で、心の健康を維持するのも、難しい時代になってきており、雇用情勢の変化とともに、働く人の勤務形態や心理状態も変化を強いられて、多くの働く人が仕事や職業生活に関する強い不安、ストレス等を感じています。また、全国的に精神障害等の労災請求件数、労災認定件数は増加傾向にあり、職場において、より積極的に心の健康の保持増進を図ることが重要な課題です。一方企業には、従業員を一定の労働時間内で働かせ、毎月給与を支払うといった基本事項のほか、従業員の健康維持や職場での安全確保を図るという労働契約上の義務（安全配慮義務）の履行が求められていることから、メンタルヘルスのケアとその対策は労務管理上の重要なテーマです。今回はメンタルヘルスケアのために企業が行うべき取組と具体的な支援のポイントを紹介します。

人間関係を改善しコミュニケーションを円滑にする

人間関係は、ストレスの原因の最たるもの。人間関係に問題がある職場では、ストレスを感じて精神状態が悪化する人が増える傾向があり、メンタルヘルスケアのためには、職場の人間関係をより良いものにしておくはなりません。そのためには職場の仲間同士の円滑なコミュニケーションが第一。上司と部下、先輩と後輩という垣根を超え、ポジティブな言葉で相手に気持ちを伝えられる環境を作りましょう。

相談窓口の設置や健康相談

ちょっとした心身の不調も気軽に相談できるように、産業医やカウンセラーなどが相談に乗る制度を作ることが大切。相談窓口の設置や健康相談などが役立ちます。ストレスのセルフケアのきっかけにもなるため、精神状態の悪化を未然に防ぐ効果もあります。実際にメンタルの不調で休職せざるを得ない場合は、職場復帰の支援を行うようにしましょう。

長時間労働をさせない取組

過酷な労働や長期間勤務が常態化している企業では、メンタル不調者がしやすい傾向にあります。労働条件や職場環境を改善し、長時間労働や過酷な労働を整えることは企業の責務です。業種によってはなかなか難しい場合がありますが、その場合も健康指導や面談などを通じて、従業員の不調のサインに気付く環境作りが大切です。

物事をポジティブにとらえる価値観の浸透を推進

人間は、同じ出来事が起きても、それをポジティブにとらえるかネガティブにとらえるかによって、受けるストレスが大きく変わります。健全なメンタルを保つためには、何事にもポジティブに物事をとらえることが大切です。仕事に対してやりがいや熱意を感じ、前向きに取り組む気持ちを育むことで、心身の健康にも役立ちます。

企業のトップがメンタルヘルスケアに取り組む姿勢

メンタルヘルスケア対策は、社内の一部の人間だけが行っていてもなかなか浸透しません。メンタルヘルスの重要性を広めるには、企業のトップが積極的にメンタルヘルスケアを重視する姿勢を見せるのが何よりも効果的。上層部から率先してメンタルヘルスケアに取り組むことで、末端の社員もメンタルヘルスケアへの考えが深まります。他人任せにせず、自らメンタルヘルスケア対策に力を入れる姿勢が重要なのです。

おわりに

今後、企業のメンタルヘルスへの取組はますます重要度を増していきます。メンタルヘルスケアに注力していると伝わることで、企業イメージのアップにもつながります。企業として、従業員ができるだけ働きやすい環境を整えることはいわば義務といえます。体の健康だけでなく、心の健康にも注目し、従業員が心身ともに良い健康状態で働けるような取組を継続的に行っていきましょう。

北海道新幹線の開通に伴う土産用半生菓子の需要増加に対応するための高機能な菓子製造機械の導入事業

第44回目は、「株式会社はこだて柳屋」(平成27年度補正ものづくり補助金)の取組について紹介します。

会社の概要

株式会社はこだて柳屋は、今年で創業70年を迎え、顧客の多くが地元客というローカルに愛された老舗菓子店です。社名には、風に吹かれても雪が積もっても折れることのない柳のようにしなやかで強い企業になるという意味が込められています。

同社の数ある商品の中でも、イカの街・函館にちなんだ本物のイカそっくりな「いかようかん」は、様々なメディアに取り上げられ、全国的な知名度を誇るとともに、熟練の職人が2日かけて丁寧に作る、その技術と味も評価され、数々の賞を獲得しています。



ものづくり補助金申請の経緯

函館市は平成28年3月の北海道新幹線開通後、国内外からの観光客が急増。それに伴い土産物需要も増加しました。数ある土産物の中でも、ある程度日持ちする饅頭や餅などの半生菓子の人気が高まっていたのですが、同社の既存の設備の生産能力や人手では大量生産に対応できず、受注に対して生産

が追いつかない状況にありました。

さらに、このビジネスチャンスをつかみ取るためには、北海道の素材を活かした新製品の開発や消費期限延長など既存商品のブラッシュアップを図る必要がありましたが、製造ラインはフル稼働で余裕がなく、アイデアはあるものの実行に移せずに二の足を踏んでいました。

そこで、半生菓子の生産能力向上と新商品開発に取り組むため、高機能な製造設備を導入することとし、ものづくり補助金を活用しました。



設備導入で製造ラインを一新

導入した設備は、餡を蒸しながら練る蒸練機、饅頭や餅菓子などを蒸す全自動蒸し器、自動餅つき機、全自動包装機の4機種。これら半生菓子の増産に必要な設備を導入することで、製造ラインのほとんどを自動化することができました。

蒸練機の導入によって、蒸しムラが解消され、工程がスムーズに進むようになり、作業時間が約25%短縮しました。また、熟練職人による蒸し加減の調整

株式会社はこだて柳屋

代表取締役 若杉 充宏

〒040-0075

函館市万代町3-13

TEL 0138-42-0989 FAX 0138-40-0992

HP <http://hakodate-yanagiya.com/>

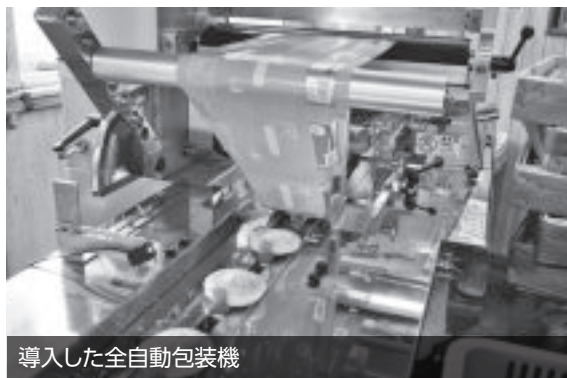


が必要なくなり、品質の安定化につながりました。

全自動蒸し機と自動餅つき機についても、作業時間を大幅に短縮でき、大量生産に対応できる体制が整いました。

これまで手作業で行っていた商品の包装は、自動化で作業速度が大幅に向上したほか、包装ミスによるロスが減少しました。また、商品それぞれに最適な包み方を設定できるため、密閉度が増し、消費期限の延長にもつながり、海外輸出も視野に営業活動を展開することができるようになりました。

また、ライン全体が効率化されたことで、製造コストの減少につながり、より良い商品をより安価に提供することができるようになりました。



導入した全自動包装機

アイディアで地域に貢献

営業企画担当の若杉隆之さんは「和菓子を食べる文化自体がなくなってしまう懸念もある中、若い方たちにも和菓子文化に触れてもらうためのアイディアを模索し続けています」と話し、「ものづくり補助金で設備を一新できたおかげでそのアイディアも具体化できるようになりました」と設備導入の効

果を話していました。また、「あくまでも地元を盛り上げることを第一に今後も新商品の開発に取り組んでいきます」との言葉どおり、最近、同社の人気商品であるロマネスク函館と少年誌の人気漫画のキャラクターをコラボレーションした新商品を地域限定で発売。七飯町で作られているりんごワインを使用するなど、素材にもこだわったこの商品は、通販も行わず、道南地域の店舗のみでの販売ですが、当初の想定をはるかに上回るペースで売れており、新商品を求めて多くの人々が道内外から訪れるなど、地域活性化にも貢献しています。



人気キャラとコラボしたロマネスク函館

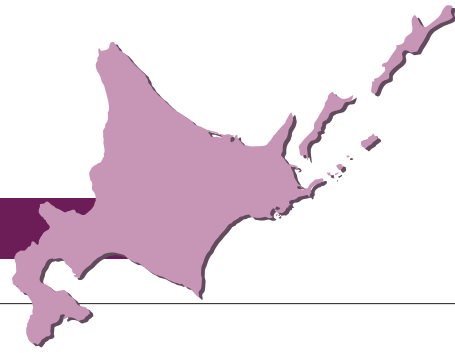
おわりに

同社は、新商品を開発する際も以前からある主力商品をベースに考えることで、長く愛されるお菓子を作ることに成功しています。増え続けるインバウンド客への対応はもちろんのこと、地域の顧客を第一に考える企業としての姿勢が、失われがちな日本の文化をも思い出させてくれました。

今回は、「株式会社マルセングリーニング」の取組を紹介します。

8月の道内景況

情報連絡員レポート



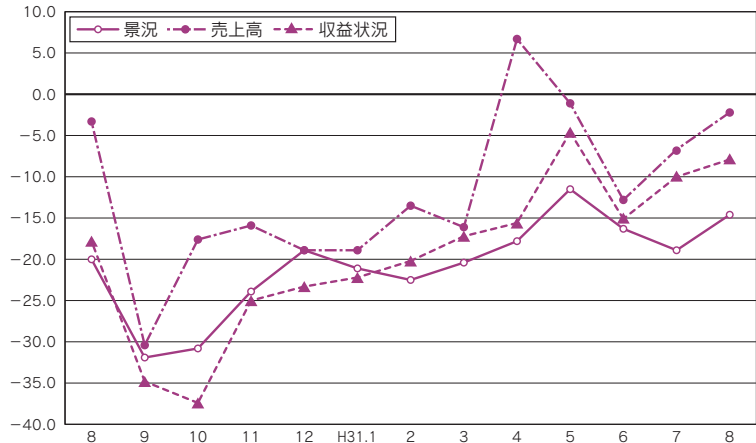
主要DIが前年同月の水準上回る

概況

主要DIが、若干ではあるもの、そろって改善した。

業種別に見た各DIの前月比較では、製造業では「景況」「売上高」「収益状況」「資金繰り」で若干改善したが、「販売価格」「取引条件」で悪化した。非製造業では「資金繰り」「雇用人員」以外の全項目で若干改善したが、依然低い数値水準にとどまっている。

主要DIの推移



景況天気図(前年同月比)

	全業種			製造業			非製造業		
	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比
業界の景況	△18.9	△14.6	4.3 ↑	△33.3	△30.3	3.0 ↑	△10.5	△5.4	5.2 ↑
売上高	△6.7	△2.2	4.4 ↑	△9.1	△3.0	6.1 ↑	△5.3	△1.8	3.5 ↑
収益状況	△10.0	△7.9	2.1 ↑	△15.2	△12.1	3.0 ↑	△7.0	△5.4	1.7 ↑
販売価格	2.2	4.5	2.3 ↑	12.1	6.1	△6.1 ↓	△3.5	3.6	7.1 ↑
取引条件	△1.1	△1.1	0.0 →	0.0	△6.1	△6.1 ↓	△1.8	1.8	3.5 ↑
資金繰り	△5.6	△4.5	1.1 ↑	△12.1	△9.1	3.0 ↑	△1.8	△1.8	0.0 →
雇用人員	△10.0	△11.2	△1.2 ↓	△3.0	△3.0	0.0 →	△14.0	△16.1	△2.0 ↓

(凡例) 30以上 10~29 9~△10 △11~△29 △30以下



天気図の見方 各景況項目について調査月と前年同月を比較して、「増加」(または「好転」)したという回答(構成比)から「減少」(または「悪化」)という回答(構成比)を差し引いた値(D・I)をもとに作成。その基準は上記のとおりである。

製造業

- ・高値で安定していた原材料価格が再上昇を始めた。販売価格を引き上げたいが、消費税を控え、様子を見ている。(水産食料品/全道)
- ・原料価格の高騰、ホタテ加工においては貝毒の影響もあり生産コスト上昇となっている。(廃棄する部分が増加している)(水産食料品/網走)
- ・暑い日が多かったため、冷たいものが多く売れ、温かいものは売れなかったため、全体の売上としては例年通り。(めん類/全道)
- ・原料の昆布の不漁により、仕入価格が上がっている。(水産食料品/函館)
- ・8月は数年来の暑さ続きで飲料に対する需要が伸び、売上が増加した。瓶、ダンボール等の値上げが浸透した。年末商品の商談が始まっているが、価格にどの程度転嫁できるかを中小企業各社が目注している。(飲料/全道)
- ・製材市況は前月と変わらずで、カラマツは、エゾ・トドマツは、保合。原木市況は、カラマツ、エゾ・トドマツは、保合。カラマツ原木は、まだまだ不足感がある模様。製材の受注は9月くらいまではある模様。ラミナの動きがやや出てきている模様。エゾ・トドマツ原木は、例年並みまで回復しているが、いまだに小径材は不足している模様。
- ・原木価格が高値であることから製品への転嫁が必要であるが、受注にかげりがある企業も出てきている模様。(一般製材/全道)
- ・製材受注量が減少傾向にある。原因は米中の貿易問題や為替の円高傾向と思われる。(一般製材/札幌)
- ・8月の生コン出荷量は305千m³で、前月比は15.7%減、前年同月比は0.2%減となった。(窯業・土石製品製造業/全道・生コン)
- ・自動車、建設機械は普通。鋳鋼品は悪い。水道資材はやや良い。農業機械・一

- 般鋳物はやや悪い。米中貿易摩擦の影響により景気の減速感が見える。工場労働者の求人少ない。(鉄鋳鋼/全道)
- ・組合員の動向
後継者がいなく廃業する事業所が2社出るなど、組合員の減少が続いている。組合員の取組状況
他産業との人材確保競争が激化する中で、優秀な人材が造船業を選択し定着してもらうためには、雇用条件の見直しを行っている。造船業は職種が多岐にわたり、女性にも適した仕事もあるため、労働環境雇用環境を改善して女性の雇用で人材確保している事業所も見られる。(金属製品/函館)
- ・消費税増税前の動きはあまりないようだが、建設工事関連では忙しいところもある。(金属機械工作/札幌)
- ・業種によっては長期にわたって人員を募集しても、応募が全くないところがあり、先行きに不安を感じている企業が複数見られる。そんな中、就職してもらえ可能性を期待して、地元工業高校のインターンシップ制度を積極的に受入れようという企業も見受けられる。(金属機械工作/札幌)
- ・民需は相変わらず低調。本州大手企業より北海道の拠点工場として新規に受注契約あり。(金属機械工作/旭川)
- ・消費税増税を控え、多少駆け込み需要があったものと推測される。増税後の反動が気になるが、この反動を受け政府の対策としてキャッシュレス・消費者還元事業やいい意味でも悪い意味でも、増税の告知が少ないことが5%から8%への増税時に起きた消費の冷えが起きないことを望んでいる。(家具/旭川)

非製造業 (卸・小売・商店街・サービス業)

- ・取扱品目にかかわらず売上は増加し、収益も改善傾向との回答が多い。IT関連では消費税アップ前の駆け込み需要が出ている。靴履物ではスニーカー、スポーツカジュアルが引き続き順調。物流の効率化を図るため関東に倉庫を集約したが北海道への物流コストが高くなっており、新たに道内に拠点を作る動きが出ている。(各種商品/札幌)
- ・3年前(2016年)の8月下旬に十勝などを襲った台風、1年前(2018年)の北海道胆振東部地震にブラックアウトと自然災害の多いこのシーズン、各組合員ともその対策は構築されつつあるようだ。組合事務局としても、SNSなどを活用しながら的確な情報発信や備品倉庫に発電機や水・非常食の常備も進めている。(各種商品/帯広)
- ・8月前半にかけて暑かったため、エアコン設備機器の販売が良好であった。(電気資材/全道)
- ・10月1日から開始されるキャッシュレス・消費者還元事業への問合せがクレジット会員から増えてきている。増税前の駆け込み需要はそれほど感じられない。(各種商品/札幌)
- ・消費税増税前の駆け込み需要から、家電量販店の売上が好調で、前年より増加した。キャッシングにおいては、前年より減少し、収益では取引経済条件の低減により悪化している。(各種商品/旭川)
- ・8月も客足は好調だった。夏だけ運航される早朝(午前5:30頃)小樽着のフェリーからの観光客は朝食・買い物のため当市場を利用する。このフェリーのおかげで「朝市」としての機能を發揮している。残念だったのは、石狩市での「ライジングサン」が一日中止になり、食材購入客が減少したこと。隣町でのコンサートなどに影響があるとは思わなかった。(各種商品/小樽)
- ・8月の各組合員の状況について
天候不順の影響も受けた前月と比べてみて、さらに厳しい状況が続いたとの声の組合員が多く、特に衣料品関係の組合員からの声が多かった。各組合員、9月はキャッシュレス還元、消費税増税など課題を抱えているが、増税前の駆け込み需要に期待しているとの声も多かった。(各種商品/釧路)
- ・ニューヨーク市場のWTI価格は8月1日53.95ドルで先月7月のスタートから見て5.1ドルの反落でスタートした。これはトランプ大統領の中国製品に対し10%の制裁関税を課すとの発表が影響したもので、7月31日の58.59

- ドルから急落した。その後主要産油国の減産幅の拡大の議論が出るなどで反落反発を繰り返し8月30日にはWTI原油価格が54.55ドルとなっている。
- ・組合員情勢
8月卸値は若干の値下がりでも推移、小売店の販売価格も下方修正されて推移したものの収支状況では従来と同じく量販店の安値攻勢により一部厳しい利益口銭の圧縮で推移している。(燃料小売業/旭川)
- ・7月の売上好転がピタリと止まってしまったようだ。前回の消費税増税時には駆け込み需要で電動自転車の売れ行きが伸びたが、今回はまだ動きにくいようだ。(自転車・自動車/全道)
- ・9月6日より(株)ホームマックニコットが入店し、活気が戻ってきた。また、地元鮮魚店ハイフイッシュみなしんの入店、当理事長立ち上げの青果店(株)ハイベジタブルタカタの出店が同時オープンした。白鳥台住民の皆様喜んで頂けるよう努力したい。(各種食料品/室蘭)
- ・売上高対前年同月比95.1%の実績。固定客の売上減(中国向け輸出の減少)が大きく影響した。(野菜・果実/札幌)
- ・増税前の関係か、小売が少々良好とのこと。(中古自動車/札幌)
- ・北海道内に拠点を持つIT企業は約900社あり、そのうちの約55%がシステム受託開発会社で、従業員規模50人以下の中小IT企業がそのうちの約65%を占めている。全国規模の大手システム開発7社を経由して、開発案件が道内の中小IT企業に発注されているケースが多い。首都圏を中心とした大手企業は人手不足対策を生産性向上で乗り切るためや、事業拡大の機会損失をIT技術でカバーするために、IT投資が幅広い業種で積極的に進められている。目立つのは、製造業の生産性改善を目的としたAIによる省力化、自動車向けの車載組み込みソフトの開発、金融のキャッシュレス決済システムの開発、次世代通信規格「5G」関連のネットワークシステムの構築等で、これらのシステム開発の拡大基調は今後も続く可能性が高い。道内の中小IT企業は人手不足・人材不足、人件費上昇という経営課題を抱えながらも、単金の上昇や女性・シニア層を活用しながら案件を受け入れて右肩上がりの業績確保を期待する経営者が多い。(ソフトウェア/全道)
- ・インバウンド減少傾向が続いている(旅館/音更)

非製造業 (建設・運輸業)

- ・8月の業況は、工事組合において電力関連工事で新電力移行に伴う計測器取替工事(スイッチング)は先月同様、前年度と比較して3割程度の減少。一般電気工事は、相変わらず労働力が不足しており、これから繁忙期の折に電工の確保が受注より難しい状況であり重要な課題。引き続き公共はやや好調、民間住宅は昨年より減少している。(電気工事/全道)
- ・問題点
公共事業においては後半の発注見通しが示されておらず、市の情報発信力が弱く感じている。
地域の実情
今月は神社祭やお盆が続き、休暇を長めに取る業者が多かったようで、社員は充分休養できた。8月に入り、好天に恵まれた日が多く、稲作は順調に生育し作況は良好。ただし、公共事業は財政難のためか上下水、土木、建築いずれも事業が縮小傾向にある。(管工事/名寄)
- ・消費税増税の料金改定を控えていて組合員の中にもインボイス制度施行後につい

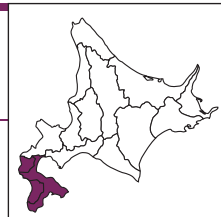
- てさまざまな声が出始めている。左派系の業界新聞には「増税とインボイス制度」で収入減となるなどの記事が掲載されているようだが、組合員に対して偏らない情報を提供したいと考えている。(一般貨物自動車運送/全道)
- ・荷動きについて、青果物は、7月に引き続き産地によって出荷量のバラつきが出ている。馬鈴薯・玉葱の出来は昨年より良いが、市況が悪化しているため荷動きは低調である。一般カーゴに関しては、前月に引き続き良くない。鉄骨・部材関係も落ち込んでいる。本州からの到着貨物も減少傾向にある。域内輸送は、ユニック貨物はまずまずの状況にある。飲料関係は猛暑が収まった途端に低調に逆戻りしている。(一般貨物自動車運送/石狩)
- ・売上高は前年同月比1.2%減少、乗務員数は前年同月比6.8%減少、7月分チケット取扱高は前年同月比6.4%増加。(一般乗用旅客/旭川)
- ・ダンプ業者は災害復旧工事に伴う需要増で、運賃や取引条件が好転しているが、業界全体では活況とまでは至らない。(一般乗用旅客/苫小牧)

支部だより



道南支部(函館市)

所管／渡島総合振興局・檜山振興局管内
駐在職員／越川事務所長・廣木主事



生花ながもっち祭

函館生花商協同組合(星井英人理事長、組合員28人)の組合員のうち「花き日持ち品質管理認証」を取得した10人で構成するながもっち委員会が、9月15日に函館市石川町の蔦屋書店内イベントスペースで「生花ながもっち祭」を開催しました。

花き日持ち品質管理認証制度は、消費者に元気な花を長く楽しんでもらうためにさまざまな取組を行う事業所を認定する制度です。生産・流通・小売の各部門に分かれており、小売部門においては、現在全国で394店舗が認証を取得しています。適切な下処理、店舗や道具の衛生管理、温度・湿度管理、栄養剤の適切な使用、在庫の滞留日数と



フラワーアレンジメント教室

いった技術面に加え、お客様対応など、仕入からアフターサービスまで多岐にわたる審査項目をクリアした店舗のみが認証を取得できます。

ながもっち祭では、一般的な店舗と認証取得



認証マークと委員会キャラクター

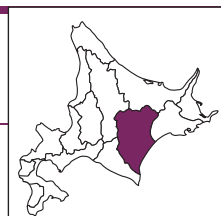
店舗との花の日持ちの差を比較してもらうため、それぞれの店舗が扱うガーベラを2本セットにして配布したほか、希望者を対象にフラワーアレンジメント教室を開催しました。認証取得店舗の商品は、品種にもよりますが、通常の2倍以上長持ちすることもあるそうです。皆さんも生花店選びの際は参考にしてみてくださいはいかがでしょうか。



配布されたガーベラ

十勝支部(帯広市)

所管／十勝総合振興局管内
駐在職員／戸沼事務所長・竹内主事



女性研修会の開催

十勝支部では、8月27日に北海道ホテル(帯広市)において、女性研修会を開催しました。

昨今、企業経営のさまざまな場面で、女性の果たす役割が重要視されるなか、支部の会員を中心に女性研修会を望む声が多く聞かれたことから、女性役職員の資質の向上と人的ネットワークの構築に資することを目的として企画し、講師を帯広市商店街振興組合連合会の理事長で、株式会社満寿屋の杉山輝子会長にお願いしました。

内容は、「3つの決断! ~明るく、強く、優しく~」をテーマとし



て、杉山会長が地産地消にこだわり、十勝産小麦粉100%のパンを普及させたこと、

組合の理事長を務めるに至った経緯や、単純ではあるが実行が難し



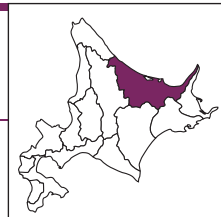
い「明るく、強く、優しく」を心がけ、女性リーダーとして活躍していくための心構えについてご講話いただきました。

研修後には、昼食を兼ねた交流会を開催し、参加者からは「ご講話に感銘し、先輩の話に勇気が湧いた」など前向きな感想が多く聞かれるなど、研修会・交流会とも好評で有意義なものとなりました。



網走支部(網走市)

所管/オホーツク総合振興局管内
駐在職員/津川事務所長・外川主任



針葉樹製材の格付け研修会

北見地方木材協同組合連合会(江本博幸理事長、会員8組合)では、中央会の組合活性化助成事業を活用し、針葉樹製材の格付け研修会を開催しました。

この研修会は、組合員企業従業員の製材に対する目利き技術の向上を図ることを目的としたもので、遠軽町と北見市の組合員企業の工場で実施されました。

北見地方では、建具等に使用される針葉樹製材の生産が盛んですが、これらは、日本製材規格(製材JAS)に基づき、大きさや形状などにより用途や価格が違ってくるため、格付けの作業は大変重要な仕事です。

一例をあげると、木材の表面にある『節』は、



一般には腐敗が早く進む部分と考えられ、節の面積が大きくなるにつれて、その木材の格が落ちてしまいます。

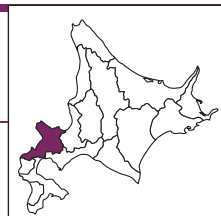
研修は、実物の製材を使用し、林産物検査会の講師の指導のもと行われ、格付けの作業を学習した参加者からは、「格付けのポイントがよくわかりました。今後の業務の中で活用したいです」との声が聞かれました。

従業員の世代交代もある中、連合会の後藤昭由専務理事は、「業界全体の品質の統一・向上を図る良い機会となりました。今後も同様の研修会を続けていき、現場レベルでの技術力向上を図りたいです」と話していました。



後志支部(小樽市)

所管/後志総合振興局管内
担当/連携支援部 佐々木主任



小樽ゆき物語・余市ゆき物語

毎年、小樽市と余市町が連携して行っている「小樽・余市ゆき物語」が、11月1日から来年2月16日まで開催されます。

このイベントは、冬季に落ち込む観光客の増加を目的として企画され、今年で5回目の開催となります。

小樽市では、小樽運河に青いLEDライトが施され「青の運河」となり、とても幻想的な光景を創り出します。また、運河プラザには約2,000個のワイングラスを一つひとつ手で積み上げた「ワイングラスタワー」が設置され、七色に変化する美しいタワーの存在感に心奪われます。

余市町で



は、ニッカ蒸溜所で冬のナイトツアーが開催される予定です。雪明りに照らされたふだんとはイメージが違う幻想的な工場を見ることができ、レアなシャッターポイントも随所にあります。

そのほか、ゆき物語パスポートやゆき物語スタンプラリーも予定されており、両地域の冬の観光スポットを余すところなく楽しむことができます。

開催期間中に小樽市や余市町へお越しになる機会がありましたら、是非お立ち寄りください。



中小企業大学校旭川校おすすめ研修のご案内

各市町村・金融機関・商工会議所・商工会等で助成制度があります。
詳細は、中小企業大学校旭川校（Tel：0166-65-1200）までお気軽にお問い合わせ下さい。

コース No.
23

原価管理講座

コストダウンが目に見える！ 利益に直結する原価管理

11月11日（月）～11月13日（水）

受講料：32,000円（税込）

対象者：管理者、新任管理者、その候補者

研修のねらい

製造現場をモデル化した教材を使い、原価計算とコストダウンのポイントを学び、自社のコストダウン活動を改善し、利益を向上させるための実践力を高めます。

カリキュラム概要

- ◆企業活動と原価管理
- ◆コストダウン手法の実践（演習）
- ◆現場実践のポイント

講師

株式会社ジェック経営コンサルタント
営業本部 部長 高田 忠直氏

コース No.
35

戦略的思考力養成講座・基本編

ものの見方が変わる！ 最適解を導くための思考法

11月19日（火）～11月20日（水）

受講料：22,000円（税込）

対象者：経営幹部、管理者、その候補者

研修のねらい

多様な問題の解決に有効な思考法の使い方を理解するとともに、主体的に考え抜く力を養います。

カリキュラム概要

- ◆思考法とビジネスへの活用
- ◆戦略思考を身につける
- ◆思考法を総合的に活用する

講師

ブレインボックスコンサルティング
代表 小林 幹彦氏

コース No.
24

新任管理者研修・秋

「できる管理者」を目指す人の マネジメント基本講座・秋

11月25日（月）～11月28日（木）

受講料：39,000円（税込）

対象者：新任管理者、その候補者

研修のねらい

管理者に求められる役割について理解した上で、管理者として必要となるマネジメントの知識・スキルを学び、自身のリーダーシップ（目標）を設定し、その実現に向けたアクションプランの策定に取り組みます。

カリキュラム概要

- ◆組織として管理者に求められる役割と能力
- ◆部下の意欲・能力を引き出す「部下指導・育成」の手法
- ◆チームの生産性を高める管理者のマネジメント
- ◆職場で発生する問題への対処法

講師

インテレッジ
代表 高橋 正也氏

コース No.
36

決算書の読み方講座・基本編

経験がない人でも身につく！ 財務の基本（札幌開催）

11月25日（月）～11月26日（火）

受講料：22,000円（税込）

対象者：新任管理者、その候補者

研修のねらい

決算書の仕組みや用語の意味、数字の流れなどを理解した上で、決算書から企業の経営体質や課題を読み取るポイントを学びます。

カリキュラム概要

- ◆決算書と財務の基礎知識
- ◆事例で学ぶ決算書の読み方（演習）
- ◆決算書を見るポイント（演習）

講師

財務リスク研究所株式会社
代表取締役 横山 吾一氏

講座内容詳細は、ホームページからもご覧いただけます。

中小 旭川

検索

資料請求や講座内容に関してお気軽にお問い合わせください。
電話 0166-65-1200
住所 旭川市緑が丘東3条2丁目2-1

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部

中小企業大学校 旭川校

経営者にも
退職金を!

小規模企業共済制度



ポイント① 常時使用する従業員が20名以下
(商業・サービス業では5名以下)の個人事業主、
個人事業主の共同経営者(2名まで)
及び会社の役員の方が加入できます。

ポイント② 無理のない掛金、税制面での大きなメリット!

- 掛金は毎月1,000円~70,000円(500円単位)の範囲内で自由に選択できます。
- 掛金は全額所得控除、受取りは「退職所得扱い」(一括受取)または「公的年金等の雑所得扱い」(分割受取)となります。

ポイント③ 事業資金の貸付け・災害時のサポートもあります!

- 事業資金等の貸付制度が利用できます(担保・保証人不要)。
- 地震・台風、火災等の災害時にも貸付けが受けられます。



全国加入者
約30万人の
実績!

経営セーフティ共済制度



ポイント① 中小企業で、引き続き1年以上事業を行っている方が加入できます。

- 取引先事業者が倒産して売掛金債権等が回収困難となった時に貸付けが受けられます。
- 取引先との商取引の事実確認だけで、迅速に貸付けが受けられます。

ポイント② 無理のない掛金、税制面での大きなメリット!

- 月額5,000円~200,000円(5,000円単位)の範囲内で自由に選択できます。
- 掛金は全額「損金(法人)」または「必要経費(個人事業)」に算入できます。

ポイント③ 最高8,000万円まで貸付けが受けられます。

- 掛金総額10倍の範囲内で、回収困難となった売掛金債権等の額
- 貸付条件は「無担保・無保証人」「無利子」※ただし、貸付けを受けた場合、貸付額の10分の1の額が、積立てた掛金から控除されます。

ポイント④ 40ヶ月以上掛けていれば、

- それ以降掛金を掛けなくても、共済金の貸付けは受けられますので安心です。
- 解約しても共済金の貸付けを受けていなければ積立てた掛金の全額が戻ります。



本制度についてのお問い合わせ・お申し込みは

北海道中小企業団体中央会

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目
プレスト1-7 3階

TEL/011-231-1919
FAX/011-271-1109

本制度は、法律に基づき独立行政法人
中小企業基盤整備機構が運営しています。

(独)中小企業基盤整備機構
共済相談室

TEL 050-5541-7171



商工中金の 中小企業組合支援

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

札幌支店	〒060-0002 札幌市中央区北二条西 3-1-20	TEL : 011-241-7231
函館支店	〒040-0063 函館市若松町 3-6	TEL : 0138-23-5621
帯広支店	〒080-0013 帯広市西三条南 6-20-1	TEL : 0155-23-3185
旭川支店	〒070-0035 旭川市五条通 9-1703-81	TEL : 0166-26-2181
釧路営業所	〒085-0847 釧路市大町 1-1-1	TEL : 0154-42-0671

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索



北海道中小企業団体中央会

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 3階

TEL 011-231-1919 FAX 011-271-1109

ホームページアドレス <https://www.h-chuokai.or.jp>

発行日/2019年10月1日(毎月1日発行)

*この機関誌は、誰もが読みやすいユニバーサルデザインフォントと環境にやさしい植物油インキを使用しています。

